



平成20年度の入学式が4月5日、本校体育館で行われ、新入生325人、情報文化学科127人、情報システム学科198人が大きな期待に胸を膨らませ、みずき野キャンパスでの学生生活をスタートさせました。

平山征美学長が「国際化と情報化が急速に発展し、複雑化する現代の多様な課題にきちんと向かい合い、事柄の本質を見極めるために、まず考える力を身に付けるために学んでほしい。大きな夢を膨らませその実現のため青春を謳歌してください。主役は皆さんです」と祝辞を贈りました。

引き続き武藤輝一理事長が「人生に往復切符はなく、二度と戻れない。大学の4年間は大切な人生のコマであり、自己認識をはっきり持ち、人間性豊かに成長することを期待しています」と激励しました。

また、在校生を代表して情報システム学科3年生の佐藤戸志仁さんが「作家高橋歩の夢は逃げない、逃げるのはいつも自分だ」という言葉を贈ります。あきらめず自

平成20年度入学生 おめでとう

「考える力」を身に付け 心豊かな社会人に成長を



分の夢・目標を確かなものにしてほしい」と歓迎の言葉を述べました。

これに対し、新入生を代表して情報システム学科の近風元さんが「世界にあふれている情報を正しく理解するために、自分の学びたいことに積極的に挑戦し、真剣に学び続けることを誓います」と力強く抱負を述べました。

式典では本校と派遣留学海外夏期セミナーを提携しているロシア、中国、韓国、アメリカ、カナダの5大学からの祝福メッセージも各国語で披露されました。新入生たちは素晴らしい晴天で気分はほろほろだ校庭の桜の下で、あらためて身を引き締めていました。



平成20年度
新潟国際情報大学入学式



CONTENTS

2・3面

入学式特集

学長式辞 理事長祝辞
在校生代表・歓迎の言葉
新入生代表・私の抱負

4・5面

新年度を迎えて新入生、在校生を激励
学長、学部長、学生部長、情報センター長
退任教員あいさつ3人
新任教員紹介3人

6・7面

平成19年度主な就職先
留学体験学生が国際交流フェア
派遣留学・夏期セミナー帰国報告会
駐日ドイツ大使が本学表敬
内山秀夫初代学長が死去

8面

進路ガイダンス・オープンキャンパス案内
平成21年度入試概要・奨学金制度

9面～12面

平成19年度卒業式特集
思い出一言・特別表彰・スナップ

平成20年度

第15回

入学式

学長式辞



新潟国際情報大学長
平山 征夫

自らの意志を持ち

自ら考え発言・行動を

新入生の皆さん、入学おめでとう。お祝い申し上げますとともに、心から歓迎申し上げます。

新潟国際情報大学は本日第15回の入学式を迎え、今年もこのように前途有為な澁刺とした新入生を迎えられましたことは、本学の何よりの喜びであります。

この日を迎えられました新入生の皆さんはもちろん、ご同席のご父母の皆さまもさぞかし大きな喜びをもつてこの日を迎えられたことと思います。そして皆さんはこれからの大学生活に大いなる期待をされておられることと思います。本学の役員、教職員一同そうした期待に応えるべく全力でこれから的大学生生活を支援してまいりたいと思います。

本年、本学に入学された皆さんは、情報文化学科127人、情報システム学科198人、合わせて325人です。本学では平成6年春の開学以来満14年を経過し、この間3247人の卒業生を社会に送り出しました。卒業生は故郷新潟を中心に実社会で活躍中であり、そして本学の創立の理念であります「わが国の社会、文化についての認識と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役立ち、能力があり、意欲があり、人間性豊かな人物を育成する」という目的が次第に達成されつつありますことを喜んでおります。

本学の設立当時は、本県の大学進学率は全国で

も低く、その原因の一つとして県内大学の受け皿の少なさが指摘されていきました。そのため、当時知事として本学の設立に大いなる期待を込めて支援を決定したことを、今懐かしく思い起こすとともに、その期待に見事に応えてこられた大学関係の諸先輩、卒業生に深く敬意を表します。

皆さんは本学の開学の理念に賛同し、また何らかの魅力を感じて入学されたことと思います。近年の国際化と情報化の急速な進展は、地球規模で人々に多くの経済的・文化的恩恵を及ぼしました。一挙に世界をつなぎ結び付け、お互いを身近なものに引き付けました。

しかし、その一方でグローバル化した世界の市場を、情報手段を駆使したビッグデータなどが利益を求めて動き回り、サブプライムローン問題など世界経済を揺るがしかねない問題も引き起こしています。そして地球規模の文明の進展は、温暖化など深刻な地球環境問題を引き起こしています。

このことは、私たちに「進歩する技術を地球環境を守りながら、どう人間の文明の発展に活かすか」という課題を突きつけています。

皆さんはこうした時代をこれから生き抜いていくわけです。それは必ずしも生きやすい時代ではないかもしれませんが、そして複雑化する現代のさまざまな課題をきちんととらえ、それに向かい合い、自らの考えで判断し、自己責任の下で行動することはそう容易なことではないでしょう。でも問題を適確にとらえ、正しいジャッジをすることは可能です。私の経験から申し上げるのですが、そのためには事柄の本質を見極め、正しい答えを「考える力」を身に付けることです。

こうした「考える力」を身に付けるために、大学時代に大いに学ぶことが大切です。それが皆さんが大学時代にすべき最も重要なテーマです。大学を卒業して社会人になるまでに、「自立した人間」になる準備を整えることが、皆さんが大学時代にやるべきことです。それには専門的分野の深い知識とともに、幅広い知識を習得し、考える訓練を積み重ね「考える力」を身に付けることが必要です。考える力は「学び、考え、また学ぶ」ことの繰り返

返しから身に付きます。どうかこの大学で大いに学んでください。

本学は皆さんのこうした目的が達成されますよう最大限の支援を教職員一体となつてやっています。しかし学ぶことを通じて自立するのはあくまで主役である皆さんの自主的な取り組みがなければ実現されません。今日から何事にも自らの意志を持つて、自らの考え自らの意見を持ち、発言行動してください。もちろん他の人の意見に耳を傾け、自らの意見と比較することも大切です。自己の確立と他の人との協調をどう調和させていくかも重要な課題です。

そして、大学生時代は人生の「夢」を描く「青春」の時でもあります。「青春時代に描いた夢が大きければ大きいほど、夢はその人を大きく育ててくれる」と言います。私もそう思います。しかしそこには、その夢に向かって最大限の努力をするという前提があることを忘れてはなりません。

この大学でより親友を得て、勉強だけでなくスポーツや文化などのクラブ活動に青春を謳歌してください。併せて人生の夢をどんどん膨らませ、その夢の実現のために大いに学んでください。それがどんなに楽しいことであり、また将来において大きな人生の力になるかを知ってください。

私も4月から本学の学長に就任した新人です。皆さんと一緒に学びながら、この大学をさらに良い

お祝いの言葉



学校法人新潟平成学院理事長
武藤 輝一

人生に往復切符は無い

4年の日々を大切に

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。

大学にしたいと思っています。「この大学で人生で最も大切なことを学ぶことができた」「この大学が私という人間を大きく育ててくれた」と卒業後に振り返った時、思ってもみなかったような大学にしたいと念願しています。良い大学をつくり上げていくのは教職員一体となつた努力が必要ですが、何よりも皆さん学生の大学生活での積極的参加がその必要条件です。どうかそのためには遠慮せずどんな先生方にもぶつかってってください。私もいつでも皆さんの方を見て両手を広げて待つております。大学生として目指すべき目的は、良い就職先につくことより、有意義な人生を送るために必要な「知識と考える力」を身に付けることです。

越後平野の真只中にあるこのキャンパスは、皆さんに豊かな自然の四季の変化を感じさせてくれるでしょう。そのことは、他人の気持を思いやれる人間性豊かな若者を育む大きな力にもなるでしょう。人間が自然の中で生かされていること、ご父母をはじめ多くの方たちが皆さんを支えてくれていることに謙虚に感謝しながら、大学生生活を大いにエンジョイしてください。

初めての学長挨拶のためかたくさんの方の要望をいただきましたが、勉強にこそし、学生生活を謳歌し、心豊かな社会人に成長されますよう心より期待申し上げ、私の皆さんを迎える言葉といたします。

本日は元氣澁刺として前途有為の325人の皆さんの入学式に出席させていただき、新潟国際情報大学の設置母体であります新潟平成学院の理事・評議員を代表して心からお祝い申し上げます。

皆さんの本学における学業は本日から始まりますが、希望と申しますか、励ましの言葉と申しますか、一言申し上げたいと存じます。

人生には往復切符はなく、一度出発したら二度と戻ってくることはありません。これからの本学の4年も同様であります。これからの本学の一日一日を、後悔していることの無いよう、大切に過ごすよう心掛けてください。

もう一つ、皆さんには、自分という人間が何であり、人間社会でどんな立場にあり、どんな長所や短所があり、何をしようとしているのかという、自己認識をはっきりと持つてもらいたいのであります。こ

のしつかりした。自己認識を持つことは在学中の
学業の完遂や大学卒業後の職業選択に大きく影
響することになります。

それでは、皆さんが本学でたくさんの知識技能
を習得し、心温かく、人間性豊かな人間に成長さ
れますよう期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

歓迎の言葉



在学生代表 情報システム学科
佐藤 戸志仁

夢は逃げない…

目標をより確かなものに

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
またご臨席いただきました多数のご父母の方々、
おめでとうございます。皆さんの入学を在学生一同、
心より歓迎いたします。

皆さんは今日から大学生としての新たな生活
を迎え、新しい環境に不安や緊張しているかと思
います。また、期待に胸膨らませている方もいるで
しょう。私も2年前の入学式この会場で皆さんと
同じように期待と不安で胸がいっぱいだったこと
をよく覚えています。

これから皆さんが送る大学生活は授業や課外
活動など、さまざまな面で今までの生活とは違っ
たものになり、戸惑うこともたくさんあるでしょ
う。特に大学は何事にも自由な面が多く常に自
己の判断自己の責任が求められます。この点が今
までの高校生活と大学との最も大きな違いだ
と思います。

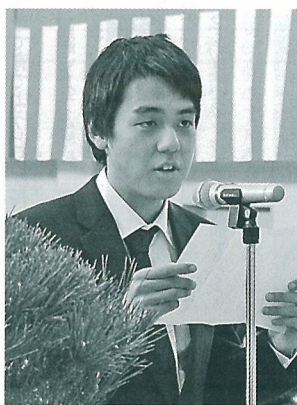
先ほども言いましたが、大学は何事においても
自由なため、日々を何となく過ごしてしまいがち
ですが、その中で自分の目標や目的をしつかりと
設定できるかが4年間の大学生活をよりよいもの

にできるかどうかの重要な分岐点だと思います。
また4年間という時間も決して長い時間ではあり
ません。私は今年度から3年次生になりますが、
今までの2年間もあつという間で今考えると
いろいろなことができたのではないかと反省する
ことも多々あります。気付いたころには大学生活
が終わつていて、4年間何となく過ごしてしまつた
というような大学生活を皆さんには送ってほしく
ありません。

以上のことを踏まえて、作家高橋歩さんの「夢
は逃げない、逃げるのはいつも自分だ。」という言葉を
贈らせてもらいます。みなさんは諦めなければ
自分の夢・目標を実現できる力があるはずで
この大学生活の中で皆さんは自分の夢・目標をよ
り確かなものにできるよう願っています。

最後になりましたが、今日皆さんが本学に入学
されたことを心から祝い、これからの学園生活が
皆さんにとって充実したものになることを願って歓
迎の言葉とさせていただきます。

私の抱負



新入生代表 情報システム学科
近嵐 元

情報を正しく理解するため

学びたいこと積極的に挑戦

今日は、私たち新入生のために、このようなすば
らしい入学式を挙げていただき、そして、激励の
言葉をくださったありがとうございます。

現在は、技術の発展によりさまざまな情報が世
界にあふれていて、私たちは比較的簡単にそれらの
情報にアクセスすることが出来ます。これによつて
家にいながらでも知りたいことが手に入り、私たち
の生活は楽なものになります。今の時代、これらの
ことはとても大切であつて、情報を学ぶことはより

よい生活をする上で必要不可欠です。

もちろん、見つけた情報がすべて正しいとは限り
ません。インターネット上には正しい情報もあれば、
間違っている情報も数多く存在します。現実世界
でも、二つの情報だけを信じて検討をせず、偏った知
識を見つけてしまうこともあります。たくさん
の真偽が分からない情報があふれる中、私たち
に必要なことは、情報をただ「使う」だけではなく、
そのことを正しく「理解する」ことが必要だと考
えます。インターネットの普及により、それに伴う
危険も同じように増えています。回避するには、
やはり知識が必要ではないのでしょうか。

大学の授業は初めてなので、今までと違いとても
不安ではありません。自分の学びたいことに積極的
に挑戦し、知識を身に付けながら、情報について広
く考えて勉強するのももちろん、社会人としての
マナーを身に付けて、本学での4年間の学生生活
を送っていきたいと思っています。

最後に、本学での先生方からのご指導に対して、
一方向からの考え方だけではなく、幅広い考え方を
して、さまざまなことに目を向けられるよう日々
努力し、真剣に学び続けることをお誓いし、入学の
抱負とさせていただきます。

祝電

新潟県知事

新潟市長

日本私立大学協会 会長

上越教育大学 学長

長岡技術科学大学 学長

長岡大学 学長

長岡造形大学 学長

新潟工科大学 学長

新潟産業大学 学長

三越新潟店 店長

セコム上信越 代表取締役社長

リクルート 代表取締役社長

国立極東総合大学(ロシア)

北京師範大学(中国)

慶熙大学校(韓国)

ノースウェストミズーリ州立大学(米国)

アルバータ大学(カナダ)

湧 YUUGEN 源

編集後記に代えて

広報委員長 越智 敏夫

古い記憶に1972年のレコード大賞がある。
そのとき自分は「瀬戸の花嫁」が受賞す
ると確信していた。発表の瞬間、テレビは椅子
に座っている小柳ルミ子を映していたが、受賞
したのは「喝采」だった。

そのときの小柳の表情は忘れがたい。当時
の私も地味だという印象しか受賞曲にはもっ
てなかった。しかしそのとき以降、小柳の曲を
フルコーラスで聞いたことはほとんどない。思い
出したように聞いてしまうのは「喝采」のほう
である。ちあきなおみの傑出した才能を小学
生の私は理解できなかったのだらう。こういう
「年齢相応の理解力」という話は本来好きで
はないが、ちあきなおみに関しては認めざる
をえない。不明を恥じる次第である。

私たちは日常において決定しつづける主体
である。好悪、良否、優劣とさまざまなであるが、
その決定の妥当性については誰も予想できな
い。嫌な仕事だと思つていたらけれどやってみ
たら面白かったとか、つまらない芝居だと思つ
ていたらけれど誘われて見てみたら感動したとか、
そういうことは珍しくない。嫌いなはずのもの
を好きになるのが人間である。

思いどおりにならないことが多い人生だけ
れど、そこには自分の決定を離れた別種の楽
しみ方があるような気がする。その意味で
「僕の人生に挫折はない」と言い切った原辰徳
選手はつまらん存在だったが、「人事異動」の一
言で失職と復職を繰り返す原辰徳監督は魅
力的である。

だから卒業生の皆さんには目の前のことに
くよくよせず、体だけは大事にしてもらいた
い。人生、濡れ手で粟だから。

たくましい翼を身につけよう

高い理念に基づき共に成長を

学長

平山 征夫



越後平野に春が訪れるとともに、今年も大学のキャンパスに15回目の新入生を迎えました。大学が1年間で二番活気付

情報文化学部長

楳本 公一



以前、本のオープンキャンパスにおいて、「何のために大学に行くのか」ということを自分なりに考えてくださというお話をしたことがあります。入学された皆さんには、気持ち新たに「大学で学ぶ」ということについてもう一度よく

学生部長

情報文化学科学科教授

高橋 正樹



いうまでもなく、大学は学生のために存在します。そのなかで、学生部は、正課の授業以外のキャンパス内外での活動について学生を支援指導するためにあります。具体的には、サークル活動や学生の各種自主活動についての支援や、学内外での学

く時でしょう。今春新たに学長に就任した私も新人です。新入生と一緒

について、多くの人々の期待を担って発

「振る舞う」という言葉があります。

「大学で学ぶ」ということ

考えてほしいと思います。

打ち込むことも大切です。

無為に時間を浪費していると、貴重な大学時代は矢のように過ぎ去ってしまします。

的知識を得るわずかな時間しかありません。

生の大人としての行動を指導するところ。

「良き社会人」「良き職業人」「良き市民」として、基礎的な知識や考え

「ワクワク」生きましよう

他方で、サークル活動のように学生が自主的に企画し活動する「課外活動」があります。

されています。サークル活動や学生の自主的活動は、それ自体、学生生活に有意義にさせてくれると同時に、これらの能力を高めるために貴重な成果を提供してくれま

新任教員紹介

Paul Bela Nadasdy

情報文化学科学科
CEPインストラクター

<担当科目>

CEP

<専門分野>

1. Sociocultural theory and second language learning
2. Motivation and autonomy in second language learning
3. Task-based learning and interlanguage development
4. Curriculum and syllabus development
5. ESP materials and course design

<略歴>
1998年 マンチェスター・メトロポリタン大学卒業
2007年1月～2008年3月
秀明英光高等学校(埼玉県)勤務(担当英語)



中田 豊久

情報システム学科学科
講師

<担当科目>

人工知能、知識情報処理、情報論理、情報処理演習C1-C2、システム演習1-2、専門演習D、卒業研究

<専門分野>

ユビキタスコンピューティング、および社会的ネットワーク分析の応用研究。実世界で活動するユーザをさげなく支援するシステムの研究開発。

<略歴>

1993年 東京工科大学機械制御工学科卒業
93年 NECロケットエンジニアリング株式会社
2003年 株式会社本田技術研究所
06年 北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程修了
北陸先端科学技術大学院大学産学官連携研究員
08年4月 新潟国際情報大学情報文化学科学科講師



石川 洋

情報システム学科学科
准教授

<担当科目>

コンピュータシステム、ネットワークコンピューティング、コンピュータソフトウェア、情報処理演習C1、情報システム演習1-2、専門演習A-D、卒業研究

<専門分野>

ソフトウェア科学、形式仕様記述に関する研究。情報システムの解析や検証が可能となるような要求仕様、設計仕様などの記述法や検証法の提案、体系化

<略歴>

1998年 3月 北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程修了
98年4月～2008年3月
福山大学工学部、人間文化学部
08年4月 新潟国際情報大学情報文化学科学科准教授



平成20-21年度の委員長

- ・学生部長 高橋 正樹
- ・情報センター長 (兼)図書セクター長 岸野 清孝
- ・学習指導委員長 高木 義和
- ・国際交流委員長 アルカゲルグループ
- ・就職指導委員長 竹並 輝之
- ・セクシャルハラスメント対策委員長 高橋 正樹
- ・広報委員長 澤口 晋一
- ・入試実施委員長 大竹 康夫
- ・人事委員会委員長 小澤 治子
- ・紀要編集委員長 申 銀珠

2008年度を迎えて

情報センター長

情報システム学科教授

岸野 清孝



情報センターは本学の最も重要な組織の一つで「教育・研究セ

クター」と「図書情報セクター」から成ります。前者は情報関連の機器およびシステムを整備・管理して教育と研究に供する部門で、後者は本

学の専門図書館を管理・運営する部門です。

大学においては、授業を通じて知識を得ることは重要ですが、単に受動的に先生から知識を教えてもら

極的な利用を期待します。

最近、若者が本を読まなくなったといわれて久しくなります。学内での学生を見てみると、本を読みふけているのはほんの少数で、携帯電

最良の仕事・人生を得るために

うだけでなく、自主的に本やインターネットなどにより情報を収集し、理解を深め、身に付けることが要求されます。それゆえ皆さまの積

話片手にメールを打つ姿ばかりが目立ちます。インターネットで情報を仕入れるので、不自由を感じていないようです。日本図書館協会の常世

田良事務局次長は、「確かにインターネットは役に立ちます。しかし、自分の仕事や、人生にかかわる判断に必要な情報を体系的かつ網羅的に得るためには本が最適です」と語っています。就職試験の面接では「学生の受け答えが次々と続かなかく、話しの浅さが目立つ」と指摘されています。これは一夜漬けでは決して身に付くものではなく、日々本を読むことの積み重ねにより、深みが備わっていくのです。最良の仕事、人生を得るために、情報センターが大いにお役に立てることを期待します。

NUISを去るにあたって

長年にわたり、本学の発展にご尽力された永井武、樋口光明両先生が定年を迎えられました。両氏の最終講義が2月16日に本校で開催されました。永井先生は「私とインターネットの関わりおよび最近の話題—Googleを中心にして」、樋口

先生は「人工知能システム開発のこれまでとこれから」と題して講義。最後に大きな拍手の中花束が贈られ、また情報システム学科の夏期セミナー留学先のアルバータ州立大学からも感謝状が贈られました。

卒業生は広告塔

情報システム学科 教授

永井 武



3月末に13年間奉職した新潟国際情報大学を定年退職した。13年間、私を受け入れてくださった新潟の方々に心から感謝する。その間、楽しかったこと、うれしかったこと、そうでもなかったこといろいろあるが、その中でうれしかったことをここに記し、新潟へ別れを告げることにしたい。

大学の使命は学問の追求である。しかし、新設の本学の卒業生は、学問に就くのではなく職業に就くと私なりに判断し、授業、演習、卒業研究指導に加えて就職活動支援も行ってきた。この13年間の大学生生活で最もうれしいのは、卒業生が自分の会社の社長とともに本学に

「帰るところはない」

情報システム学科 教授

樋口 光明



きて、来年の卒業生をわが社に採用させていただき、と言ってきたときである。本学の卒業生が入社し、それに活躍して事業を拡大し、さらに従業員を増やしたいと経営者が思ったとき、本学卒業生の後輩が欲しい、そして本学まで採用活動のために来てくださったという過程を思うとうれしくなる。

卒業生二人ひとりを適所に就職指導することにより卒業生が活躍できれば、広報活動や取って付けたような広告をするより堅実な広告であると思われている。学生二人ひとりを教職員一体となって育てる努力を続けることにより、本学が存在する価値が生まれる、と思っている。本学が、22世紀、23世紀に存在する大学であることを、陰ながら支援していきたい。

今はゴジラなども監督している大森「樹」が、京都府立医科大学の学生だったころ自主制作した映画がある。「暗くなるまで待てない」というその映画の中で、関西から東京に行くことになった女性の送別会で彼女が言ったセリフが、30年以上たった今でも妙に心に引っかかっている。「行くところはいつかある。帰るところがないだけ」私にも何度目かの転身の機会がやってきた。もちろん

微笑みがえし

情報システム学科 講師

山田 尚史



学生のみさんが生まれるはるか昔に、キャンディーズという女性3人によるユニットがありました。彼女たちは、「普通の女の子に戻りたい」という名言によって解散宣言をしたことでも有名でした。

キャンディーズの最後の曲は「微笑みがえし」という曲だったと記憶しています。

「春一番が掃除したてのサツシの窓にほこりの渦を踊らせています
机本箱運び出された荷物の後は
畳の色がそだけ若いわー(中略)123それぞれ道
私たちが歩いて行くんですね
歩いて行くんですね」

(阿木燿子さん作詞、樋口雄右さん作曲)
正直、また非常勤講師としてこちらに来る予定ですので、退職するという実感がまだ持てません。ただ、今、研究室の掃除をしながら、この曲の歌詞、その当時の幼かった自分のことなどを思い出しています。例えば、札幌の近くの田舎町で生まれ、その地を離れ、あちこちを転々とし、また新しいところへ行く。その繰り返しの中で、さまざまな経験をし、成長してきたのだな、とそんなことを考えています。

今年の前期は、非常勤としてこちらに来ます。私が苦手だった学生の方は、くれぐれも私の講義を取らないでください。それでは、お元気で！

(国士館大学へ赴任)

駐日ドイツ大使が本校を表敬

5月に新潟市で開催される主要国首脳会議(サミット)労働相会合を前に、同市を視察したハンスヨアヒムデア駐日ドイツ大使が3月14日に本学を訪れ、武藤理事長らと親しく懇談しました。同国ではサミット開催を機に「ドイツ社会保障史」展を本学の新潟中央キャンパスを会場に4月30日から開催することになり、会場提供が縁で表敬となりました。

同大使は武藤理事長らと親しく懇談し「新潟は美しい街で、素晴らしいサミット開催となるだろう。今回の会合を契機に教育問題でも交流が進展するよう期待している」と話していました。

「ドイツ社会保障史」展は5月21日まで開催されます。



新潟でのサミットを機に「ドイツ社会保障史」展

国際交流フェアによるこそ

地域との交流の架け橋に

4月21日から国際交流センター
30日から新潟中央キャンパスで

毎年実施している異文化交流・異文化理解と目的とした「派遣留学」「海外夏期セミナー」は、本校の語学研修の主要な柱ですが、参加学生による「2008年度国際交流フェア」が、4月21日から本校・国際交流センターで、30日まででは新潟中央キャンパスで開催されます。

ロシア、中国、韓国、アメリカ、カナダの5カ国の提携大学への留学に昨年度は最多の学生が参加しましたが、これらに参加した学生が中心となって、各国での体験と成果を写真やパネル、提携校の紹介、民族衣装でのパフォーマンスなどで披露します。本学の国際交流活動を広く仲間や地域のみなさんに知っていただき、地域と国際交流の架け橋にしたいという願いも込められています。

平成19年度卒業生 主な就職先一覽

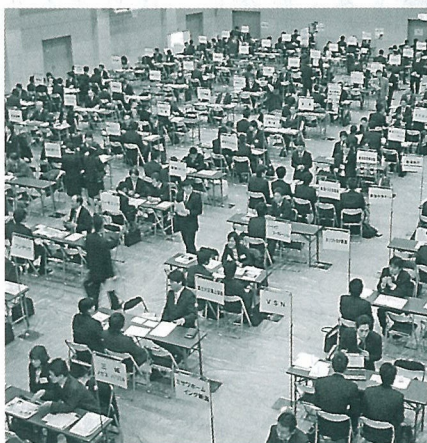
萬代電業(株)
(株)BSNアイネット
東日本高速道路(株)
東日本旅客鉄道(株)
(株)ビート・エイ
(株)ビップ
(株)ひらせいホームセンター
(株)パワーテック・ジャパン
(株)フクエー
富士ゼロックス新潟(株)
藤田金属(株)
(株)藤田製作所
(株)富士通新潟システムズ
ブリヂストンタイヤ新潟販売(株)
(株)フルボン
(株)プロデュース
(株)文武堂
(株)ベシア
(株)ベシーック
(株)北越ケース
(株)北玄
(株)北陸銀行
(株)堀川
(株)マルイ
マルソー(株)
(株)マルト長谷川工作所
(株)みかづき
瑞穂医科工業(株)
みずほインベスターズ証券(株)
三菱電機メテックス(株)
(株)明和住販
(株)メガスポート
(株)メディア・アナライザ
(株)メビウス
ヤマハ(株) ヤマハ英語教室
(株)湯沢グランドホテル
(株)ヨドバシカメラ
(株)リビングギャラリー
(株)リョーイン
(株)リンコーコーポレーション
(株)レオパレス21
(株)レックス
(株)レンタルのニッケン
ワタナベグループ
(株)綿半ホームエイド

東京アプリケーションシステム(株)
東京コンピュータサービス(株)
東北交通機械(株)
東洋電子工業(株)
(株)トップカルチャー
外山産業グループ
新潟運輸(株)
新潟クオリティサプライ(株)
(株)新潟クボタ
(株)新潟グランドホテル
新潟県庁
新潟県警察
(株)新潟県厚生事業協同公社
新潟県信用漁業協同組合連合会
新潟県信用組合
(株)新潟県農協電算センター
(株)新潟ケンベイ
JA新潟市
新潟酒販(株)
新潟総合警備保障(株)
新潟大栄信用組合
新潟ダイヤモンド電子(株)
新潟中央ホーム(株)
新潟トヨペット(株)
新潟日報販売(株)
(株)新潟日報旅行社
(株)新潟フジカラー
JA新潟みらい
日建・レンタコムグループ
日産プリンス新潟販売(株)
日本通運(株)
日本郵政グループ
日本サムスン(株)
(株)日本ビジネス・サポート
(株)ニューアサヒ
(株)ニューメディア総研
ネットコタ新潟(株)
(株)Noah
(株)ハードオフコーポレーション
(株)ハーモニック
パール金属(株)
(株)バイタルネット
原信ナルスホールディングスグループ
はるやま商事(株)
(株)パワーアシスト
(株)パワーズフジミ

サイバーコム(株)
(株)サカイ引越センター
佐川急便(株)
サキヤクリエイト(株)
JAささかみ
三条商工会議所
(株)サンテック
CEC新潟情報サービス(株)
(株)シーティーネットワーク・ジャパン
(株)ジェー・アイ・イー・シー
システムリサーチ(株)
(株)シスノーツ
新発田信用金庫
芝通アドバンスト(株)
シマト工業(株)
清水商事(株)
(株)ジャパンネット
(株)ジョイックスコーポレーション
シリウスグループ
信越ペプシコーラ販売(株)
シンコー(株)
(有)ずき生花店
(株)スポット 良食生活館
(株)スミク長岡硝子
セコム上信越(株)
(株)セントラル情報センター
(株)総研システムズ
総合スタッフグループ
(株)損害保険ジャパン
(株)大光銀行
(株)第四銀行
(株)ダイナシティ
太興興業(株)
大和リース(株)
(株)高儀
(株)高助
高野ガス(株)
タクトシステムズ(株)
(株)武富士
ダムズグループ
中越運送(株)
中越クリーンサービス(株)
中越通運(株)
鶴木(株)
THK新潟(株)
(有)ディータイム

アークベルグループ
アークランドサカモト(株)
(株)アイエックスときわテクノロジー
(株)アイテック
(株)アクティオ
浅野金属工業(株)
味の素システムテクノ(株)
(株)アミリ
(株)アルプス技研
(有)イトウォーク
(株)イトラスト
(株)池の平ホテル
(株)インテック ソリューション パワー
(株)ウイング
(株)ウオロク
(株)エイエイビー
HLS(株)
エース交易(株)
(株)NS:コンピュータサービス
NSGグループ
(株)エヌサイト
エヌ・ユー情報サービス(株)
(株)エビス
(株)エム・アイ・ディジャパン
オークス(株)
(株)オーシャンシステム
オスボック(株)
柏崎信用金庫
カネ美食品(株)
(株)川内自動車
かんど歯科・小児歯科クリニック
北日本物産(株)
北日本防食(株)
(株)きむら食品
キャンノンイメージングシステムズ(株)
(株)キュービット
(株)航空保安事業センター
(株)頸城建工
グローバルホーム(株)
(株)ケーオーケーケー
(株)ケーシーシー
興栄信用組合
(株)コーケン
(株)コメリ
コンピュータロン(株)
斎長物産(株)

就職戦線 来春に向けスタート



学内合同企業説明会開く

過去最多の222社が参加

恒例の「学内合同企業説明会」が2月14、15日の2日間、本校体育館で開催されました。雪が舞い底冷えのするあいにくの天候にもかかわらず、本学学生のために県内外から過去最多となる222社の企業に参加いただき、来春卒業生の就職活動がスタートしました。

参加した約300人の学生はリクルートスーツに身を包み、緊張しながらもお目当ての企業ブースを訪れ、熱心にメモを取っていました。2月の声を聞くと、学外でも多くの「合同企業説明会」が開催されますが、本学学生にとって、この「学内合同企業説明会」が就職活動の第一歩となります。多くの企業の担当者による親切な説明を聞くことができ、今後の就職活動を進めて行くうえで、極めて有益な2日間となりました。

留学・海外セミナー・帰国報告会開く

貴重な体験、成長ぶり披露 過去最多の5コース72人参加

平成19年度の留学海外セミナーの帰国報告会が1月16日、本校国際交流センターで開かれ、貴重な体験を語り合い互いに成長をたえた会となりました。

無事終了した情報文化学科の派遣留学(ロシア、中国、韓国、アメリカ)情報システム学科の海外夏期セミナー(カナダ)の合わせて5コースの参加学生は総勢72人という過去最多となりました。武藤学長が全員の無事帰国と成功をたたえてあいさつ、根本学部長の音頭で乾杯の後、各コースの代表が留学の成果を発表しました。初体験の不安、会話の苦戦と楽しみ、カルチャーショック、多くの外国留学生との交流など、テーブルの軽食と飲み物を囲んで、いつまでも思い出話が弾みま

した。

【中国コース】

情報文化学科2年 渡辺 浩太

言葉は壁ではなかった
興味本位で「行ってみよう」と思って臨んだ中国留学は、さまざまな出来事と人々との出会いの連続でした。中国人は考え方が大雑把ですが、しかし中国人は買物などの場面で

見ず知らずの他人と長話するのが好きで、語学力の無い私の中国語に対しても親身にきいてくれる、人情味あふれる人たちでした。

語学留学に行きながら変な感想ですが、言葉が通じないことはそれほど大変なことではないなあと感じたのもこの留学を通して学んだことです。必死に身振り、手振り、気持ちで示せばしっかり伝わるのです。ですから「国際交流は、言葉が壁ではない」としみじみ思いました。

【韓国コース】

情報文化学科2年 齋藤 雄介

刺激的なキムチの国
日本では決して味わうことのできない興奮、喜び、不安、さまざまなことがありました。韓国は一言で言う「キムチの国」でした。しかし、私が韓国を「キムチの国」というのは食事面だけのことでありません。

韓国人の人々は感情をむき出しに、ストレートに表現します。悲しいときは悲しい、うれしいときはうれしい、怒るときは本気で怒ります。それを包み隠さず、思ったことをそのまま表現し

ます。真っ赤に燃えるような赤いキムチの色、そして辛くて刺激的な味がするような情熱的で激しい国でした。日本との違いに驚きっぱなしでした。

生きていく言語に触れ、相手の言っていることも分かるようになってくると、こちらから話しかけることも楽しくなっていました。そのうちに自然と自分から話しかけに行き、楽しく話ができるようになっていったのです。言語を勉強するのに、人と会話することに勝るものはないと実感しました。

海を越え、国境を越え、偏見を越え、「韓国語」という共通点で私はたくさん仲間をつくることができました。そこには反日感情という偏見は何つありませんでした。「人でも多くの韓国人、中国人の日本に対するイメージを変えよう」という私の一つの留学での目標も少しは達成できたように思えます。むしろ、その目標以上のものを得たと確信しています。

【アメリカコース】

情報文化学科2年 大橋 綾

人生を形成した体験
自分の人生を形成する上で意味のある

内山秀夫初代学長が死去

開学の理念を確立、辛口政治評論など展開

本学の開学に多大な貢献をされ初代学長を務めた内山秀夫氏が4月6日、東京都日野市の病院で



亡くなられた。78歳。突然の訃報に、新学期が始まったばかりの学内に悲しみに包まれました。

内山氏は1930年、東京生まれ。慶応義塾大学経済学部法政学部卒。同大学院法学研究科政治学専攻博士課程修了。専攻は政治理論、近代日本研究。同大学教授、福祉研究センター所長、日本政治学会理事などを務めた後、本学開学のおよそ4年前から新設に向

る、衝撃の毎日を通してきました。ハプニングの連続でした。行きの飛行機は悪天候のためかなり遅れ、次の日の夜には学校が停電、バスに乗り生徒全員で避難。その後も同時に3本の注射を打たれたり、まさかの発砲事件に遭遇したり、降雹の危険性のため学校閉鎖のような状態になったりとにかく大変なことがあり続けた。そして極めつけは私たちが乗るはずだった帰りの飛行機が存在しないと飛行場で宣告されたことです。無事に帰ることはできましたが、そのときは乗り継ぎもうまく行かず、日本に帰れないかもしれないという不安でいっぱいでした。



勉強面では毎日課題に追われているため睡眠時間は削られ、顔が死んでいるといわれる毎日でした。その分成長したと思いたいです。ほかのみんなは着実に自分の課題をこなし、現地でできる友人と英語で会話をし、目に見えるほどのスピードで英語力が上達してしまいました。アメリカの人々はとても優しく友好的です。知らない人に声をかけても笑顔で返してくれます。最初は銃を持つ友人、人種差別をするなどマイナスイメージばかりが先行していましたが、実際に生活を共にすることで、彼らも私たちと変わらない同じ人間なのだと思えることができました。

【ロシアコース】

情報文化学科2年 鴨井 勇太

一言で伝える思い
今回ロシアには12人が参加したのですが、全員に「4カ月半の自分の留学生活を一言で例えてください」と質問し、私が代表者として紹介します。

大野結花「ロシア語でкрыть日本語で輪です。ロシアでも韓国人や他県から来た日本人などと友情の輪ができたから」

小野澤友里江「클럽軌跡。留学はすでに過去の記憶で、その記憶や人との出会いの過程や思い出を忘れないようにしたい」

馬場綾香「знакомство出会い。いろいろな国の人との出会いだったり、同じロシア留学メンバーの、今まで見たことのない面との出会い」

小田千由希「тепло暖かさ。向こうで出会ったロシア語の講師が、勉強のことだけでなく、健康を気遣ってくれ

るなど、まるで母親と娘のように深いところで触れ合うことができ、人と人との繋がりを感ぜられた」

青木早苗「густота密。毎日ロシア人と遊び歩いて、授業も全部ロシア語なので、日本と違う4カ月半という短い時間の中での密の濃さ」

・富永由賀「связь繋がり。たくさんの人と出会って繋がりが持てたこと、日本にいる両親や友達と離れていても繋がっているのを実感した」

・高橋勝「человек人。人との出会いはまさに一期一会だった」

・渡邊美弥「открытые発見。初めての海外で、日本とは違うこと、たくさんの悪いこと、いい人がいっぱいいること、それらすべてが初めての発見」

・駒木根和敏「свобода自由。何をやるにも自分で決めていたから」

・熊倉静「сокровища財産。この経験が自分にとって財産になったから」

・笹川大輝「дружба友情。現地でロシア人や韓国人との間に友情が生まれ、同じロシア留学メンバーとの友情が深まり、日本から定期的に連絡をくれる友人のありがたさを感じた」

そして私は「язык言葉です。日本語が通じない状況におかれ感じたのは言葉は気持ちを伝えるための手段であって、大切なのは伝えたいという強い気持ちがあること、それを伝えようとする、相手の言葉ではなく気持ちを理解しようとすることです。『важнее понимать чем говорить』大切なのは話すことよりも理解すること。この留学は、私たちにとって本当に良いになりました。

【カナダコース】

情報システム学科2年 富山 貴旭

世界の広さを実感
「もし、言葉や気持ちが通じなかったらどうしよう」という不安を胸に。しかし、カナダの人たちは思いやりがあり、何かことが困っている素振りを見せるとそれを察してくれて声をかけてくれたり、逆にこちらが話しかけると笑顔で対応してくれました。そして、言葉が通じなくても、ジェスチャーによって自分の気持ちを伝えることができました。

しかし、ただ黙っている訳にはいかないもの。カナダ人は日本人と違い友好的で、とにかく見知らぬ人でも気軽に話しかけます。そのため、ぎこちない英語で会話をすることが多くなりました。その結果、セミナーの終わりにころには英会話ができるほどに上達しました。言葉が通じなくても、がんばって言葉を伝えようとした生活が、言葉が分らないから黙っていた「よう」から「分らないでも話しかけてみよう」という考えに変化したのが自分でも分かりました。

今まで日本限定での尺度で物事を見ていた私にとってこの夏期セミナーは文化という世界の広さを自分の身体で感じる事ができるよいチャンスでした。

高校生はじめどなたでもご参加できます！

OPEN・CAMPUS 2008 オープンキャンパス

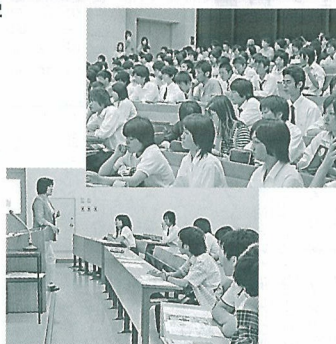
開催日 1回目 7/20日 2回目 10/5日
10:00～15:30

会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市西区みずき野3-1-1 (JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

- 学科及びカリキュラム説明 ●入試情報説明
- 入試問題の傾向と対策 ●模擬講義 ●コンピュータ実習
- 語学体験 ●個別入試相談 ●就職相談 ●海外留学相談
- 学生との懇談 ●学内見学



※変更となる場合もありますので、事前にご確認ください。



参加お申込み

高校の進路指導の先生、
もしくは右記までお申込みください。

お問い合わせ先

新潟国際情報大学 広報係

〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
TEL025-239-3111 FAX025-239-3690
E-mail soudan@nuis.ac.jp

高校生・ご父母のための

進路ガイダンス

開催日 4/26日
10:15～14:10

会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市西区みずき野3-1-1
(JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

スケジュール

- 9:45～10:15 受付
- 10:15～11:05 講演「自分にあった進路選択」
講師／ベネッセグループ 進研アド 小林 俊也氏
- 11:15～12:30 パネルディスカッション
「進路について考えよう!!」
パネリスト／
新潟県教育庁高等学校教育課 指導主事
新潟青陵高等学校 進路指導部 永井 孝史氏
(株)コロナ 総務部人事課 上田 佳則氏
ベネッセグループ 進研アド 小林 俊也氏
新潟国際情報大学 学生部長 高橋 正樹
- 12:30～13:10 昼食(学生食堂でご試食ください。無料!)
- 13:10～14:10 本学学生によるパネルディスカッション
「大学ってどんなところ?」

※当日は、学内見学も可能です。

平成21年度 入学者選抜試験概要 (要約一覧)

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日	入学手続き期間
推薦入学試験	高校長推薦 指定校制	情報文化学科 10 情報システム学科 20	30	20年11月 1日(土) 11月11日(火) 20年11月16日(日)	本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います	20年11月20日(木)	20年11月20日(木) 12月 5日(金)
	高校長推薦 公募制	情報文化学科 30 情報システム学科 35	65		面接・小論文 学力推薦要件：全体の 評定平均値3.8以上またはいずれか1教科 の評定平均値が4.5以上であること		
	高校長推薦 スポーツ	情報文化学科 情報システム学科	若干名		面接・小論文 対象種目については、募集要項で 確認してください		
	社会人入学試験	情報文化学科 情報システム学科	若干名		面接・小論文		
一般入学試験	前期	情報文化学科 35 情報システム学科 60	95	21年 1月 6日(火) 1月22日(木)	21年 2月 2日(月)	新潟 上越	21年 2月 7日(土) 2月17日(火)
	大学入試 センター試験 利用	情報文化学科 15 情報システム学科 20	35	21年 1月30日(金) 2月16日(月)	21年1月17日(土)、18日(日) の大学入試センター試験を 受験していること	新潟	21年 2月21日(土) 3月10日(火)
	後期	情報文化学科 10 情報システム学科 15	25	21年 2月16日(月) 3月 3日(火)	21年 3月10日(火)	新潟	21年 3月13日(金) 3月24日(火)
					・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学I・数学II (数学IIは、微分・積分を除く) ・外国語:英語I・英語II 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	21年 2月21日(土)	21年 3月13日(金) 3月24日(火)

本学独自の奨学金制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(全学年対象)授業料全額又は1/2
- 表彰奨学金(2～4年生対象)10万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象)15万円～23万円
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象)I種5万円、II種2万円
- 学費臨時給付奨学金(全学年対象)授業料・施設設備費の当該期分全額又は1/2
- 学費奨学融資制度奨学金(3・4年生対象)借入利息相当額

◎入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせください。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nuis.ac.jp

「4年間何もしないで遊んでいるのも貴重な体験、何かするのも貴重な体験。だから無駄な時間はないんだ。」

何かをして速く大きくならなくてはと焦っていた1年の頃、この言葉が胸に響いた。そう肩の力を抜いてみると、

教える立場を経験し学んだ

情報文化学科 小出 蘭夢

「今しかできないことをしよう」という自分の思いに気づくようになった。そして、授業、留学、アルバイト……と機会があれば何でもしてきたが、今思えばまだまだ受け身だったように思う。そこから脱出したのは、3年から参加した国際交流インストラクターだった。

小中・高校生を対象に、世界の難しい問題を楽しく教えるためには、何倍もの知識と何時間にもおよぶ準備、そして即興性が必要だ。問題を感ぜてもらったための進行内容を熟考しても、学年クラスの雰囲気・人数によって同じテーマでも同じ条件ということはある。子どもはあり得ない。子どもたちへ投げかけ、反応を見て言葉遣いや説明を変えたりする。人に教える立場を経験して、総合的な力を勉強できたと思う。これからはもっと大きな舞台に放りだされることになるが、2年間かけて体験した貴重な時間は、きっと今後の糧になると信じている。

入学してしばらくの間、大学生活は想像していたものとは大きく違い、自分のやりたいことはここで見つけられない。いつも思っていた。学校にいても特に楽しいこともなく、どうして楽しいことが学校にはないのかという思いでいっぱいでした。

自ら挑戦する大切さ学ぶ

情報文化学科 片野 崇子

そんな簡単なことですが、自分から進んで行動するようになってから、それまでになかった時間から、それまでになかった気持ちで学校生活と自分自身とも向き合えるようになっていました。

しかし2年後、後期にアメリカに行き、いろいろなことに進んで取り組むようになったことで、「楽しさ」はどこかにあつたり誰かが持つてきてくれたりするものではなく、自分で見つけるものなのだとい

友達でなく仲間に出会えた

情報文化学科 伊豆野 裕一

初めてのこの代名詞を聞いたとき、私は、人と人との強く、熱いつながりを感じた。友達というよりも、仲間と表現したほうが、一緒に何かをするという意味が感じられた。

大学生活では、多くの「仲間」と呼べる人と出会った。私は大学生生活でさまざまなことに挑戦してきた。硬式野球部を部員みんなで力を合わせて、

失敗に後悔はいらない

情報システム学科 川上 拓也

選んだ竹並ゼミに入っ て、本当によかったと思つています。とても楽しい場所でした。そこにはとても明るい人たちがいて、先生も好きなことをさせてくれて、そこではとても自然な自分であることができる。お陰で大学生活を楽しく締めくくることができました。普段の授業も、合宿も、本当にいい思い出です。

カナダが私に与えたもの

情報システム学科 後藤 祐太朗

学生時代は、学生にしかできないことがあるといわれますが、この留学などまさにそれだと思えます。これから社会人になつたら、このような貴重な体験を糧にし、カナダの自然のよう、器の大きな人間になりたいと思ひます。

大学生活4年間は、ほとんど資格の勉強をしていたように思います。4年間で5回資格を受けました。合否は2勝3敗、散々な結果です。しかも、資格の勉強に集中するあまり、私は志望するゼミに入れませんでした。ゼミに入る努力を怠つたのです。そのゼミ以外考えていなかったためかなりへこみました。が、私は資格を受け続けたこと、ゼミに落ちてしまったことも、反省はすれ後悔はしていません。その後2次選考でも、ゼミに落ちてしまったことも、反省はすれ後悔はしていません。決めたことに後悔はいらないと考えています。

多くの出会い 一生の財産に

情報システム学科 駒形 高広

で、今の私がここにいれるからである。親をはじめ大学の先生、大学生活で出会った友人や仲間たちにはこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたい。人との出会いがあつたからこそ、コミュニケーション能力や行動力が身に付き、私自身も大きく成長することができた。

今までの大学生活4年間を振り返ってみると、実に多くのことを学び体験することができた。大学での授業に限らず、アルバイトやカナダ留学、遊びや飲み会、インターシップ、就職活動、卒業研究、挙げてみるとときりがなく多い。そしてこれらを通じて多くの人々とも出会えた。その出会いは私にとって今後の財産になるだろう。これはとても幸運なことだと思ふ。なぜなら多くの人との出会いや支えがあつたおかげ

日々の生活ではあまり実感はわかないが、あらためて顧みると強く実感することが出来る。最後に、これら大学生活で得たものを糧に、春からは社会人として精いっぱい頑張っていきたい。

「卒業にあたって」4年間の思い出と今後の抱負

学長告辞

新潟国際情報大学長
武藤 輝一高い潜在能力と
習慣的能力を発揮しよう

本日、ここに多数のご来賓並びにご父母の皆様にご出席いただき、第11回新潟国際情報大学卒業式を挙行できますことは、卒業生の皆さんはもとより、本学にとりまして大変な喜びであります。この日を迎えられた卒業生の皆さんに、またご父母の皆様にも新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表して心からお祝い申し上げます。また本日ご出席のご父母の皆様には晴れの卒業式で、ご子弟を目の前にされ、お喜びは如何ばかりかとご推察申し上げます。

この度の卒業生は情報文化学科120名、情報システム学科179名、合わせて299名であります。このように混雑として、希望と期待に溢れ、前途有為の皆さんを送り出すことができますのは、我が新潟国際情報大学にとりまして大きな喜び、かつ大きな誇りであります。

皆さんが入学された平成16年には、新潟県内、県央を中心とした水害及び中越地震があり、さらに昨年、中越沖地震がありました。被災された学生諸君とご家族の方も少なくなく、誠に残念なことでありました。然し被災された学生諸君も恙無く学業を修了し、本日卒業の運びとなり、本当に良かったと思っております。

4年前、皆さんの入学式の告辞の中で、本学在学中に自主性と自律性を備え、自ら行動し、自らの価値観を持ち、自らの言動に責任を持つ習慣を備えるよう希望しましたが、これからは期待に違

わず自主性、自律性を備えた社会人として船出するものと信じております。

越後で育った人は何事にも控えめであり、おとなしいと言われておりますが、一旦その気になりますと高い潜在能力を発揮すると言われています。然し中にはその優れた潜在能力を発揮せずに生を終える人もあることでしよう。皆さんが大学での講義や実習、さらに学生生活から得た習慣的能力は、これからの社会生活の中で大変役立つことと思えます。習慣は第二の天性とも言われ習慣的能力もその中の一つであります。そのまま使わずに放置しますと、ときには徐々に消滅して行きます。然しこれに新しい知識や技能が加えられることにより、元からあった習慣的能力は活性化され増大されます。このような力を持つのが皆さんご存知の生涯学習や継続学習と呼ばれるものであります。生涯学習をしっかりと考える必要はありません。平素の余暇の中で可能であります。学習は必ずしも大学、大学院、各種学習センターなどでなくとも、マスメディアも利用することができます。常に新しい知識や技能を身につけるような心がけましょう。真面目に仕事をしていても、漫然と流れに身を任せているのは職種、進歩、発展に同調することはできませんし、自らの向上を図ることできません。

企業、機関の中で、平素の真面目な勤務状態が認められ、急に他の人の上に立つ立場に昇格したとき、全く自信を喪失し、ノイローゼになってしまう人があります。一見真面目に見えながら、漫然と仕事に従事し、自らの知識、思考や技能の向上、新鮮化を図つてこなかった人に起こり易いようです。皆さんがこれから二社会人として自分なりに考えて満足できる人生を送るために必要なことは何でしょうか。ピーター・ドラッカーは「仕事に集中すること、1年に2回は立ち止まって、それまでの道を振り返ることである」と言いました。フランス・フクヤマは「個人の成長と自己変革の繰り返しである」と申しています。これからの人生、すべてが順調とは行かないかもしれません。迷い、出ることもあるでしょう。こんな時には、ひとまず立ち止ま

て、それまでを振り返り、自らの変革を行い、自らの強みと弱みをあらためて認識して、人生の歩みを続けようではありませんか。平素気がついたことを手帳に書き留めておき、反省の資料にすることを勧めます。

ところで、これから精いっぱい活躍し、悔いのない人生を過ごすためにはなんといっても健康でなければなりません。大学の卒業式の告辞の中で申し上げるのはあまり例のないことでしようが、平素健康の維持を心掛けるよう強調しておきたいと思えます。まずはご存知のBMIの測定も簡単で便利な方法です。一定年齢に達してからの職場や市町村での定期健診や特定検診は必ず受けましょう。癌腫、肉腫などの悪性腫瘍は皆さんの年齢層でも見られますし、年齢が高くなるほど発生率は高くなります。皆さんが講義を受けた某先生はちょうど2年前に胃癌でなくなりました。2年前の卒業式に車椅子に乗って出席された先生はしみじみと「定期健診を受けていればよかったです」と私に申されました。そしてその1週間後に亡くなりました。定期健診で発見し手術を受

来賓祝辞

富士ゼロックス新潟(株)
代表取締役社長 松田 完 様大きい夢と高い志を
持ち続けてほしい

まずは、卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。卒業生の皆さんが喜ばれているのは当り前のことかも知れませんが、今日まで育んできた二両親やご家族の喜びは大変なものじゃないかなとお察し申し上げます。

それに大学関係の先生方、皆さん、本当におめでとうございます。私どものお付き合いは、当学が

けていれば、本日は元気にこの卒業式に出席されていたことでしょう。残念でありました。先生の言葉を、大切な教訓として心に留めておいていただきたいと思えます。

例年、6月には新潟市内の本校あるいは中央キャンパスにおいて同窓会総会が、7月には東京都内において同窓会関東支部総会が開催されます。同窓会では同級生、先輩、後輩、教職員の人たちに会い、悩みを聞いてもらうこと、示唆を受けることができ、何よりもその後の生活に勇気づけられます。多忙と思いますが、皆さんの同窓会への出席を期待しております。

昨年の暖冬に比べ、今年の新潟市内の積雪は僅かでしたが、北風が強く大変寒い冬でありました。校庭の桜並木の蕾も開花の時を待ち構えているようです。この桜が咲き乱れる4月には、皆さんは一社会人として真剣な面持ちで活躍中のごことでしょう。

皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げますとともに、前途に幸多かれと祈り、皆さんを送る言葉と致します。

開学以来ずっと切れ目がなく、優秀な学生さんを採用させていただいています。

当学の学生さんは第一期生が入つて以来、ずっと続いており、この春にさらに2人に加わっていただいて12人になります。私どもの会社でいえば約5%、一番大きなグループのひとつでございます。

この情報大の学生さんたちは、当社に入つて非常に高い評価を得ています。それは、ITリテラシーの高さもさることながら、常に前向きに仕事に取り組んでいる。それから、先ほど武藤先生もおっしゃいましたが、辛抱強い、粘り強いということ、お客さまからも社内の仲間からも非常に信頼を集めている、そういう共通点を持っております。

本当に良い先輩が世の中に出ています。私どもの会社では一番上が34歳くらいです。中堅のところ。私が最も期待をする若手のメンバーの中に何人も当学の卒業生がおります。非常に頑張っております。

さて、私も皆さんの先輩として、先ほど武藤先生がいろいろとお話をされておられ繰り返しになるかも知れませんが、皆さんに分かりやすく一

つだけお願いをしておきたいということでは、はなむけの言葉を考えてきました。

それは「夢を持つこと」です。当学の校歌の中にも「夢創り」という言葉が、キーワードとして入っています。夢を創ること、夢を持つことの重要さがその中に出てくるんじゃないかなと思うんです。夢を見るのと、持つとかついていうのは簡単に考えていますけれども、今、人前でなかなか夢を語ることができにくくなっている、恥ずかしがる、そういう傾向があります。

これは、いろいろな小さい頃からの教育とか、そういうことも問題があるんじゃないでしょうか、とにかく恥ずかしがつて言わないですね。まあ万が一です、ね言わなくても、夢を持っていた方がいいということだけは是非お願いしたい。それもなるべく大きな夢を持っていた方がいい。小さな夢ですと、簡単に実現できてしまったり、突然できてしまったり、あまり苦労だとか努力だとか工夫だとかがないものですから、成長しない。これが一番まずいことじゃないかと思う。若者の特権でありますから、どうぞ高い志と大きな夢を持っていた方がいい。

それから、夢も一回見たらおしまいじゃなくて、ずっと続けて継続して夢を持っていた方がいい。それで、実現するための努力を必死なつてやると、その中に必ずハツと気が付いた時に素晴らしい成長という自己実現が待っていますので、それは何事にも変えがたいものだと思います。私も60年くらい生きてますが、もつと大きな夢を持つて、もつと努力していたら、もつと違った人生が歩めたかなというふうに、今、若干後悔しているところなんです。

皆さんは卒業式だとか社会に出るといふ非常に良い機会に、夢ということに対して、夢の本質は何なんだろ？とか、夢って何なんだろ？ということとを真剣に考えていただきたい。そして必ずや大きな夢だとか難しい難解なものにチャレンジすれば、成長という見返りといったら変ですけれども、そういうものが必ずつきましますので、それがあればあるほど、実りの多い人生を歩めるんじゃないかというふうに思います。

はなはだ簡単ではございますけれども、皆さんの門出に際しましてお祝いの言葉とさせていただきますと思います。今日は本当におめでとうございました。

卒業生答辞



情報文化学科(総代)

大谷 淳美

知識を生かし自信を持って

一人の国際人として社会に貢献

ようやく寒さも和らぎ、やさしい春風とともに木の新芽が揺れるのを目にするようになりました。本日は私たち卒業生のために、このような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様、並びに関係者の皆様におかれましては、ご多忙の中ご出席していただきましたこと、心よりお礼申し上げます。本日も私を含め、299名が卒業することとなりました。

時が立つのは早いもので、この4年間の大学生活はあつという間に過ぎ去ってしまいました。答辞を行うにあたり、大学生生活を振り返ってみますと、4年前、期待と不安であふれていた自分が、昨日のことのように思い出されます。講義やゼミなど、高校までとは異なる授業に戸惑いもありましたが、先生方、職員の方のサポートや友人との出会いによって、こうした不安は吹き飛び、楽しく充実した大学生活へと変わってまいりました。

私は、自分の社会に対する視野を広げたいと思い新潟国際情報大学に入学しました。外国語、国際関係、地域文化など自分の知識や視野を広げてくれる講義は興味深く、様々な分野をより広く詳細に学ぶことができ、将来につながる知識を得ることができました。また、ゼミでは関心を持つテーマに自ら取り組み、研究していくという、講義とは異なる学問のおもしろさを学びました。

しかし、入学当初はなんとなく時間だけが過ぎていったように感じます。その生活を変えざるをえなかったのが、2年次に経験した中国留学でした。入学当初は留学をすることについて全く考えていませんでしたが、自分を成長させたい、中国語

を身につけたい、そんな思いで中国留学を決意しました。留学当初は、言葉も分からず、慣れない生活に帰りたいと思うこともしばしばありましたが、共に学んだ仲間たちの支えがあり、乗り越えることができました。この留学は私にとって変革のチャンスとなり、多くの人々と触れ合うことで物事を多角的に捉えることができるようになり、また世界だけでなく自分の暮らす日本、新潟についていかに無知であるかを思い知らされました。そして、もつと世界について、日本について知りたいと感じるようになり、勉学にも力が入るようになりました。私にとってこの中国での経験、共に生活をした仲間、そして仲間と一緒過ごした時間は一生の宝物となつていきます。

また、4年次に参加した「国際交流インストラクター」の活動は県内の小学生や中学生と緒に学び、考え、触れ合うことで、講義だけでは経験できない実践的な活動を行うことができました。どうすれば子どもたちに分かりやすく世界の現状を伝えることができるのか、どうしたら楽しんでもらえるのか、アドバイスをもらいながら何度も議論を重ね、時間をかけてつのプログラムを作り上げていきました。成功すること、失敗することもあります、その反省を生かし、次のワークショップに繋げていくと、より良いワークショップを行うことができました。

私にとって中国留学と国際交流インストラクターでの経験は、入学した当初には想像できなかった充実した毎日をもたらしてくれました。自ら考え、行動し、省みる。これは簡単なようですが、しっかりと実行することは難しいです。これを繰り返して実践する場となった中国留学や国際交流インストラクターの活動は私にとって大きな刺激となり、将来の礎となっていくことでしょう。

学問だけでなく、多くの人々と出会い、議論したことは大学生活の楽しい思い出となっており、心の支えとなつていきます。私たちが新潟国際情報大学で得た財産は、数え切れません。4月から、私たちはそれぞれの道を歩み始めます。その道は決して平坦ではないでしょう。しかし、一人の国際人として、ここで得た知識や経験を生かし、自信を持って、明るい未来に向かって広く社会に貢献していきたいと思つていきます。

最後になりましたが、学ぶことの大切さと面白さを教えてくださり、時には厳しくご指導してくださった先生方、素晴らしい環境を整えてくださった職員の皆様、大学生活を支えてくれた家族、そして4年間苦楽を共に過ごしたかけがえのない仲間たちすべてに感謝致します。

皆様の今後二層のご活躍と新潟国際情報大学の更なる発展を願い、私の答辞とさせていただきます。

卒業式来賓名簿

富士ゼロックス新潟(株)	代表取締役社長	松田 完
(株)ウオロク	取締役人事部長	高橋 清二
(株)エイエイビー	常務取締役	鈴木 三千夫
(株)NS・コンピュータサービス	総務部長	天野 浩
(株)総研システムズ	常務取締役部長	清水 保
大和リース(株)新潟営業所	所長	関谷 剛
新潟総合警備保障(株)	執行役員	北村 栄一
(株)マルイ	人事部長	貫 龍太郎
新潟国際情報大学	父母会長	石口 康司
同	父母会役員	川上 久賀
同	同窓会会長	高橋 毅

祝電

新潟県知事	泉田 裕彦
新潟市長	篠田 昭
日本私立大学協会長	大沼 淳
上越教育大学 学長	渡邊 隆
長岡技術科学大学 学長	小島 陽
長岡造形大学 学長	鎌田 豊成
新潟工科大学 学長	布村 成員
新潟産業大学 学長	広川 俊男
(株)文武堂	
代表取締役社長	小島 和夫
新潟クオリティサプライ(株)	
代表取締役社長	桑原 正寛
新潟総合警備保障(株)	
代表取締役社長	廣田 幹人
(株)三越新潟店 店長	福井 文弘

平成19年度 卒業生おめでとう

新たな知識と技能を備え299人巣立つ



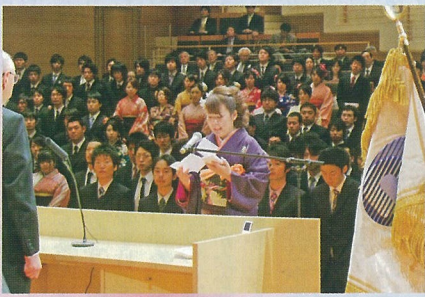
平成19年度(第11回)卒業式が3月19日、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)コンサートホールで行われ、299人(情報文化学科120人、情報システム学科179人)の卒業生が決意新たに社会に巣立つて行きました。

卒業生一人ひとりが名前を呼ばれ、両学科総代に学位記授与のあと、武藤輝二学長は「希望と期待にあふれ、前途有為の皆さんを送り出すことができ喜ばしい。大学生活から得た習慣的能力にさらに新たな知識と技能を加え、社会に貢献を」と告辞、前途を祝福しました。

これに対し、卒業生を代表して情報文化学科の大谷淳美さんが「視野を広げ将来の礎となる多くの実践的な学問を学んだ。一人の国際人として社会に巣立つことができる。学ぶことの楽しさ、厳しさを教えてくれた大学と多くの人に感謝しています」と答辞を述べました。

最後に吹奏楽部の演奏で校歌「空がある風がある光がある」を卒業生と教職員、来賓や父母など参列者全員で斉唱し、温かい大きな拍手で卒業をたたえて記念式典を終りました。

同日夕には恒例の卒業記念祝賀会がホテル



新潟で開かれました。晴れやかな表情の卒業生たちは、教職員を取り囲んで別れを惜しみ、同僚と互いに将来の活躍と夢を語り激励し合っ、門出を祝う華やかなパーティーを心ゆくまで楽しみました。

第11回までの卒業生は合計3,247人に

年度	卒業生数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第1回)	295人	116人	179人
10年度(第2回)	290人	124人	166人
11年度(第3回)	303人	126人	177人
12年度(第4回)	294人	114人	180人
13年度(第5回)	291人	118人	173人
14年度(第6回)	277人	111人	166人
15年度(第7回)	314人	118人	196人
16年度(第8回)	294人	115人	179人
17年度(第9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
合計	3,247人	1,299人	1,948人

※9月卒業生含む



平成19年度 卒業生特別表彰

学長賞(学業成績優秀者)

情報文化学科(総代) 大谷 淳美
情報システム学科 吉井 亨

学術賞

情報システム学科 天城 徹也
学業に励み合わせて情報セキュリティ・アイデアコンテスト(レクチャーおよびソフトウェア開発技術者(1種))に合格した。

課外活動賞

情報文化学科 石高 隆仁
2年間にわたり学友会会長および代行として、極めて強い責任感を持って学友会の発展に尽力した。

情報文化学科

金丸 大介
児玉 義之

金丸君はバドミントン部の主将として、児玉君は同副主将としてチームをリードし、北信越選手権大会において顕著な活躍をした。

渡辺 貴

情報文化学科

塚田 隆介

バレーボール部の選手として北信越選手権大会の2部優勝に導くなど、エースとして顕著な活躍をした。

情報システム学科

軟式野球部員として、新潟県大会で目覚ましい活躍をして優勝に貢献し、また県代表として第27回東日本大学軟式野球選手権に出場を果たした。

悠規

国際交流賞

山際 佳

石高 隆仁

岡田 恵理

小出 蘭夢

南場 裕美

和田 真澄

丸山 達也

大谷 淳美

五十嵐美紀

片野 崇子

本間 景子

本校の国際交流・地域交流に関する取り組みが文部科学省の薦める平成19年度現代的教育ニーズプログラムに採択された。以上の12人がこの事業の実施に積極的に参加し、多くの小・中・高校から高い評価を得た。